



CynosBio株式会社

会社説明

CynosBio株式会社は、創業者である故・町田才之丞（まちだ さいのじょう）氏により青森県弘前市内にて「ひろさきI株式会社」として設立され、地元地域の方々との共存・共栄を図ることを理念として掲げ、公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構（FBRI）と共同して再生医療等製品の開発を進めて参りました。

昨今、核酸医薬品や免疫療法など科学技術の発展とその医療応用には目覚ましいものがあります。一方で、臓器移植、神経、皮膚、角膜、軟骨といった疾患領域では、医薬品による治療だけでは限界があり、再生医療を用いた治療が熱望されています。特にiPS細胞を活用した再生医療技術については研究がますます加速しており、自家細胞や骨髄幹細胞等他家細胞培養技術による新たな治療方法として注目を集めています。

当社は設立以降、FBRIによる橋渡し事業のもと、京都府立医科大学で開発が進められていた「羊膜基質を用いた口腔粘膜上皮シート（TR9）」、及び欧州で開発・販売されていた外傷性膝軟骨損傷に対する「軟骨加工製品（IK-01）」を導入いたしました。

TR9（製品名：サクラシー®）は、臨床試験データに基づいて製造販売承認申請を行い、承認を取得し保険適応されるに至り、これまで十分な治療法がなかった角膜上皮幹細胞疫症に対して新たな治療の選択肢を提供することができました。またIK-01は、現在、変形性膝関節症を対象とした臨床試験を実施中であり、超高齢化社会における問題解決に向けて大きな期待を寄せています。

当社は、アカデミアから導入したシーズの開発のみならず、自社研究開発に着手し、製造からマーケティング・販売までを自社内で完結することのできる開発力を強みとする再生医療ベンチャーです。当社は、創業者の意思を受け継ぎ再生医療製品の治療領域を拡大し、更に新たな細胞培養技術の探索を積極的に推進してまいります。これまで治療が困難であった疾患に対して再生医療の力で新たな治療方法を提供することで、患者さまとご家族が、健康で笑顔あふれる人生を取り戻せるようチャレンジを続けてまいります。

会社概要

本社所在地

日本

事業内容

再生医療製品の開発、製造及び販売

代表取締役

石川 博樹

設立年

2015年9月16日

資本金

19億円（2024年11月1日現在）

従業員数

11 - 50人

URL

<https://www.nvcc.co.jp/portfolio-posts/cynosbio/>

オフィス情報

メインオフィス

〒1030012

東京都中央区日本橋堀留町一丁目3番15号

日本橋ライフサイエンスビルディング8（4F）